

# 今冬の節電対策等に関するアンケート調査結果

新産業・エネルギー振興課

## 1 調査目的

当県では、この冬の電力需給の安定化と、より一層の省エネルギーを進めるため、ご家庭の皆様、あるいは企業様に今冬の節電のお願いをしております。

については、皆様の節電行動や節電意識について把握・分析を行うことで、今後の各取組分野の状況に応じた節電対策に活用していくものです。

## 2 調査対象など

調査対象：県政モニター678人（うちインターネットモニター384人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成29年1月20日～2月10日

回収結果：545人（回収率80.4%）

その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

### ・節電意識の状況について

今冬の節電意識の状況（問8）について、「昨冬以上または昨冬並みの節電に努めた」が75.4%（前年調査85.6%）と減少し、「無理のない範囲で節電に努めたが、昨冬ほどは取り組まなかった」が15.8%（前年調査8.5%）にほぼその分増加しており、節電意識がやや緩みつつあると言える。

また、来夏の節電意識（問9）においても、「今冬以上の節電に努める」が19.4%（前年調査28.8%）と減少したが、「無理のない範囲で節電に努めるが、今冬ほどは取り組まない」が13.2%（前年調査7.5%）に増加し、同様の傾向が見られる。

### ・節電行動への取組について

具体的な節電対策の実施状況について、問1から問7の7項目を調査した結果、「照明」を除く6項目の大半の回答で節電対策の実施状況が減少する結果となり、節電意識の低下が、実際の取組みに反映しているという結果となった。

また、節電対策に「取り組んでいない」という回答も、照明以外の6項目で増加しており、やはり節電意識が低下していると考えられる。

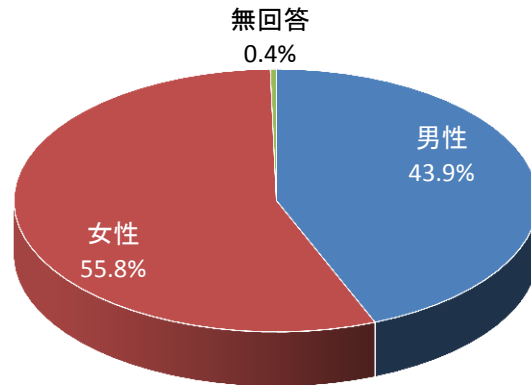
### ・節電意識の定着について（東日本大震災前と比較して）（問10）

節電意識についても、「節電が定着した」との回答が合計76.7%（前年調査80.4%）と減少しており、今後は、節電が光熱費の減少というメリットや、CO2削減などの温暖化防止対策への貢献などの効果を伴うことなどと併せてPRし、省エネルギー意識を高める啓発活動が必要である。

#### 4 回答者の属性

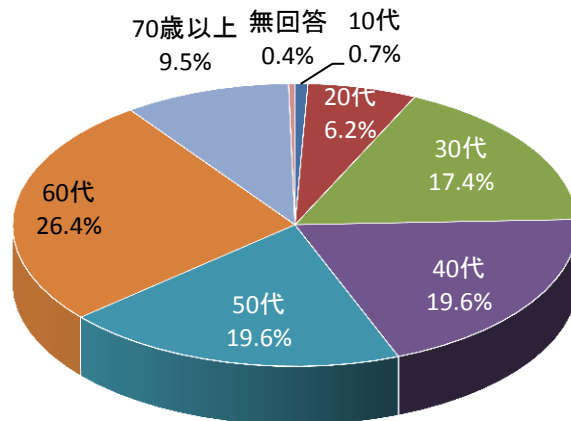
##### 性別

	人数	構成比
男性	239	43.9%
女性	304	55.8%
無回答	2	0.4%
合計	545	100.0%



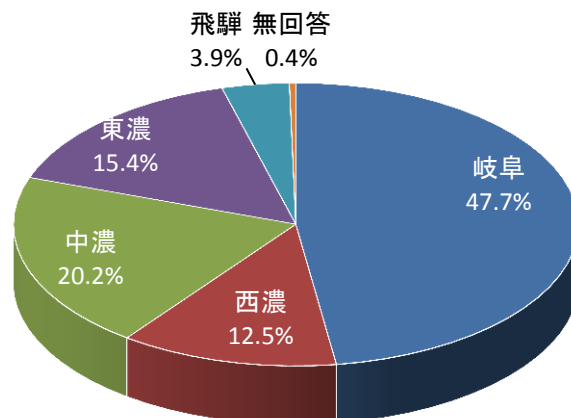
##### 年代別

	人数	構成比
10代	4	0.7%
20代	34	6.2%
30代	95	17.4%
40代	107	19.6%
50代	107	19.6%
60代	144	26.4%
70歳以上	52	9.5%
無回答	2	0.4%
合計	545	100.0%



##### 居住圏域別

	人数	構成比
岐阜	260	47.7%
西濃	68	12.5%
中濃	110	20.2%
東濃	84	15.4%
飛騨	21	3.9%
無回答	2	0.4%
合計	545	100.0%

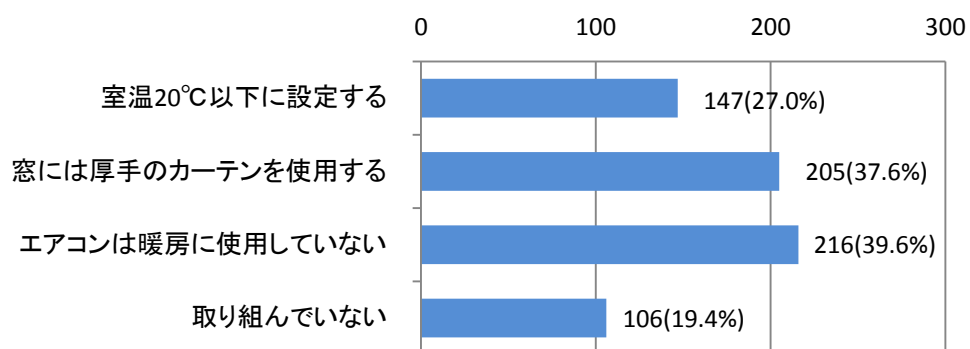


## 5 調査結果

○今冬にあなたの家庭で取り組まれている節電対策等をお答えください。

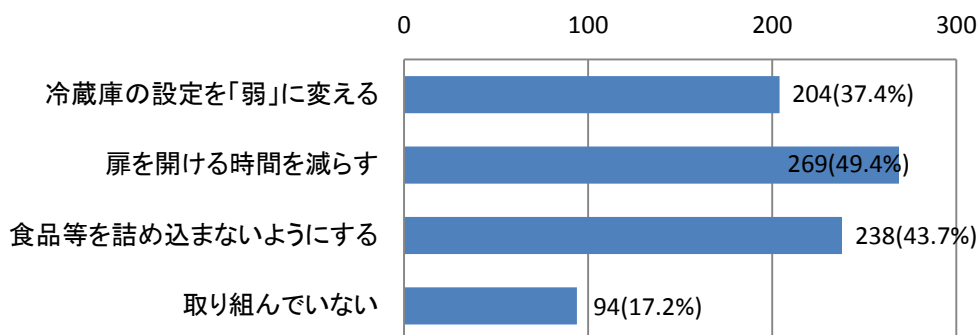
### 問1 エアコンについて（複数回答・回答者545人）

	人数	構成比
室温20℃以下に設定する	147	27.0%
窓には厚手のカーテンを使用する	205	37.6%
エアコンは暖房に使用していない	216	39.6%
取り組んでいない	106	19.4%
合計	674	



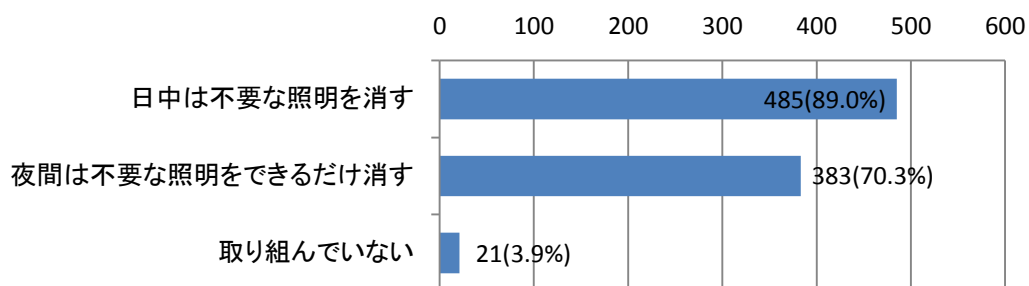
### 問2 冷蔵庫について（複数回答・有効回答者545人）

	人数	構成比
冷蔵庫の設定を「弱」に変える	204	37.4%
扉を開ける時間を減らす	269	49.4%
食品等を詰め込まないようにする	238	43.7%
取り組んでいない	94	17.2%
合計	805	



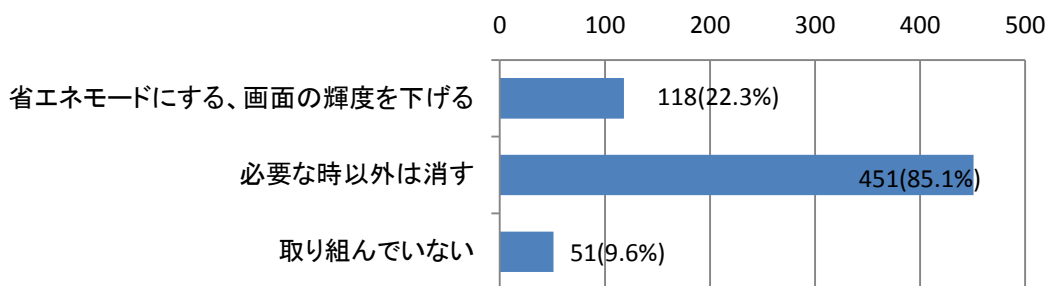
問3 照明について（複数回答・回答者545人）

	人数	構成比
日中は不要な照明を消す	485	89.0%
夜間は不要な照明をできるだけ消す	383	70.3%
取り組んでいない	21	3.9%
合計	889	



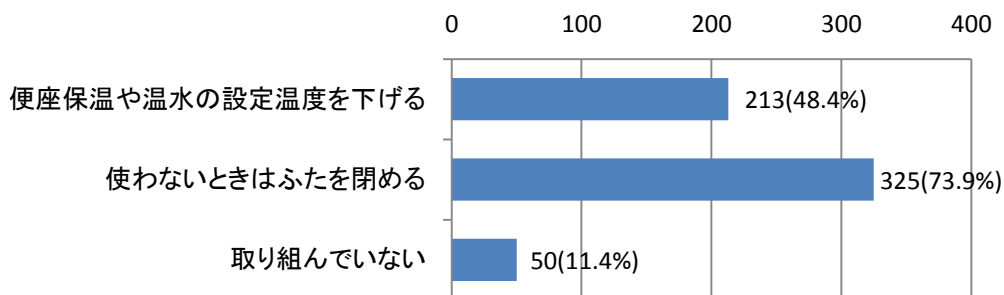
問4 テレビについて（複数回答・回答者545人／非使用15人）

	人数	構成比
省エネモードにする、画面の輝度を下げる	118	22.3%
必要な時以外は消す	451	85.1%
取り組んでいない	51	9.6%
合計	620	



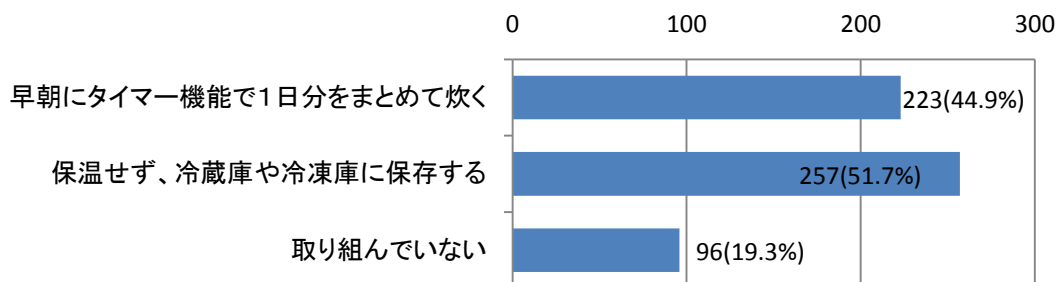
問5 温水洗浄便座について（複数回答・回答者545人／非使用105人）

	人数	構成比
便座保温や温水の設定温度を下げる	213	48.4%
使わないときはふたを閉める	325	73.9%
取り組んでいない	50	11.4%
合計	588	



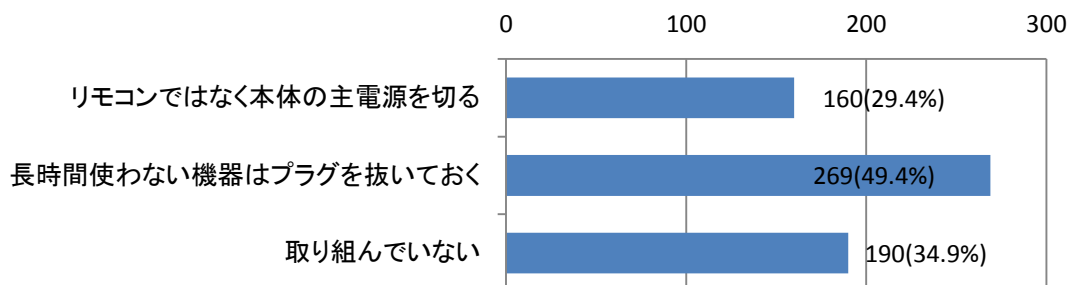
問6 ジャー炊飯器について（複数回答・回答者545人／非使用48人）

	人数	構成比
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊く	223	44.9%
保温せず、冷蔵庫や冷凍庫に保存する	257	51.7%
取り組んでいない	96	19.3%
合計	576	



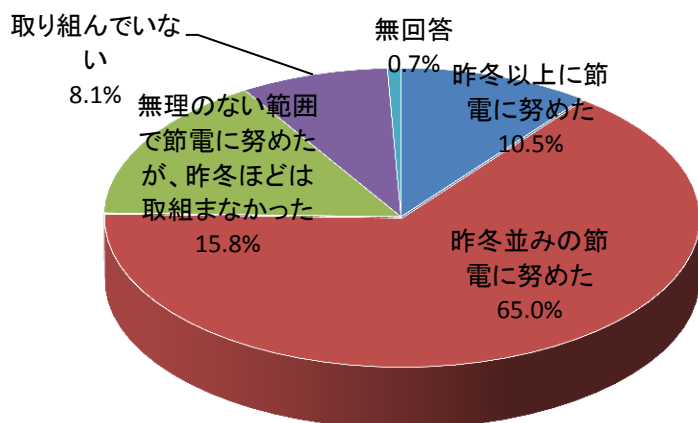
問7 家電の待機電力について（複数回答・回答者545人）

	人数	構成比
リモコンではなく本体の主電源を切る	160	29.4%
長時間使わない機器はプラグを抜いておく	269	49.4%
取り組んでいない	190	34.9%
合計	619	



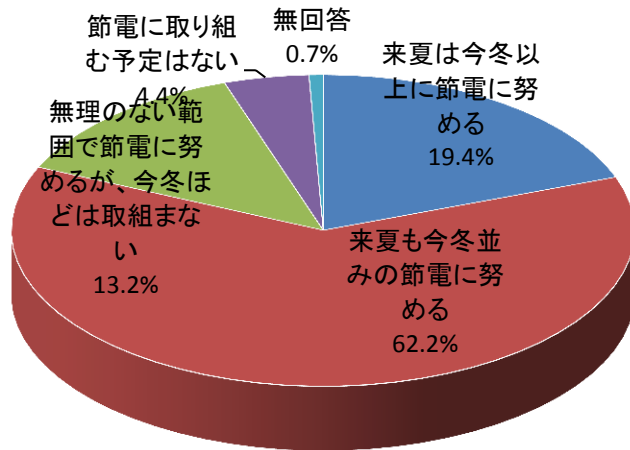
問8 「無理のない範囲で、できる限りの節電」というお願いに対して

	人数	構成比
昨冬以上に節電に努めた	57	10.5%
昨冬並みの節電に努めた	354	65.0%
無理のない範囲で節電に努めたが、昨冬ほどは取組まなかった	86	15.8%
取り組んでいない	44	8.1%
無回答	4	0.7%
合計	545	100.0%



問9 来夏の節電に対する意識について

	人数	構成比
来夏は今冬以上に節電に努める	106	19.4%
来夏も今冬並みの節電に努める	339	62.2%
無理のない範囲で節電に努めるが、今冬ほどは取組まない	72	13.2%
節電に取り組む予定はない	24	4.4%
無回答	4	0.7%
合計	545	100.0%



問10 節電意識の定着について（東日本大震災前と比較して）

	人数	構成比
とても定着した	80	14.7%
無理なく節電できる項目については定着した	338	62.0%
年月が経過するにつれ、意識が低下している	90	16.5%
震災前と変わらない（または、震災前より低下した）	33	6.1%
無回答	4	0.7%
合計	545	100.0%

